豊かな狛江をつくる市民の会通信

豊かな狛江

豊かな狛江をつくる市民の会
狛江市東和泉 1-1-18 いづみ荘 103 号室
新日本婦人の会狛江支部気付
連絡先：080-5084-1821（前土肥）
郵便振替口座番号 00140-3-727253

第 282 号（2024 年 1 月号） ／ 2024 年 1 月 1 日発行

補聴器購入助成　市議会で市長が表明

市議会第 4 回定例会

11 月 24 日始まった市議会第４回定例会の一般質問で松原市長は、難聴者への補聴器購入助成の要望に対し、**「全世代を対象とした難聴者のための補聴器購入助成制度の導入に向けた検討を進めていく」**と答弁しました。

補聴器購入補助は、こまえ社保協（社会保障推進協議会）や新日本婦人の会が、これまで市に対し何度も署名や陳情、予算要望書を繰り返しおこないましたが、議会で否決されてきたものです。他自治体での無償化が進む中で、やっと前向きの答弁が引き出されました。

また、学校給食は、小池知事が「学校給食費の負担軽減に大胆に踏み出す」と表明したことを受けて、松原市長が「東京都の今後の動向を見ながら対応していく」と答弁しました。狛江市の給食費は今年度から小中学校に 3 人在籍している場合第三子のみ無償化されています。

学校給食無償化の流れを

こまえ社保協は 12 月 14 日、あらためて市議会あてに無償化と財政措置を国及び都に求める陳情書を提出、同時に市長・教育長あて要望署名 738 筆を提出しました。

憲法第 26 条は「義務教育はこれを無償とする」と謳っていますが、無償なのは授業料と教科書だけで、実際には隠れ教育費と言われる教材費や体操着、ドリル代など、保護者に高額の負担が生じています。給食費について１年前まで都は「国の責任と負担によるべきもの」「各自治体の判断により実施されているもの」の答弁を繰り返し、知事与党も都民の請願を拒み続けてきましたが、今年に入って 23 区すべてが無償化を表明し、近隣の府中市も今年 10 月から無償化を実施しています。狛江市においても、ただちに無償化するべきです。

市長会も要望

三多摩・島しょ部で無償化が遅れているのは市町村の負担が大きいためで、都議会では４会派（日本共産党、ミライ会議、生活者ネット、グリーンな東京）が、12 月８日、小中学校などの給食費を無償化する自治体に全額補助、都立学校の給食費を無償化する条例案を発表し、開会中の都議会第４回定例会に提案しました。

東京都市長会も来年度の都予算への最重点要望として「居住する自治体によって大きな教育格差を感じることがないよう、給食費の全額補助を国が実施するまでの間は、都が財政支援すること」と要望しています。

「働き方改革」で懇談なし？

こまえ社保協は毎年、予算に対する要望を出し、担当部署の課長と懇談をしていましたが、２０２０年 10 月を最後に「新型コロナウイルス感染防止」を理由に、断られています。

今年５月、コロナが「５類感染症」に移行された（もちろん十分な注意が必要ですが）ので、社保協事務局長があらためて懇談を求めましたが、今度は「働き方改革で、就業時間への影響を減らすため懇談などをする時間も抑制され、社保協だけでなく、全ての団体との懇談などをお断りしている」との返答でした。市として市民の声を聞くことは優先されるべきで、削る場所を間違えているのではないでしょうか？

「図書館分割」か「現在地で充実」か
住民投票は市民が意見を表明するチャンス

住民投票やりましょう！

ちょっと待って図書館移転連絡会こまえ（以下ちょっと待って連絡会）では10・22市民集会でのみなさんの意見、提案を検討して、今できることは新図書館建設に対して市の計画**「分割・移転」**か**「分割せずに現在地での充実」**か、住民投票で市民の意見を問おうということになりました。新しく「こまえ図書館住民投票の会」が立ち上がります。

「住民投票」の学習会やりました

12月11日（月）夜には、成蹊大学法学部の武田真一郎教授による「住民投票」についての学習会を行い、住民投票の意義、各地での実践や心がけることなどを学びました。武田先生は、徳島市の吉野川可動堰住民投票に関わって、その後も各地の住民投票も経験されているので、示唆に富んだお話が聞けました。また、町田に住んでいて狛江は通勤途中なので、いつでも来ますよと心強い約束もしていただきました。学習会もまた開きたいと思います。

住民投票で民意の反映を

住民投票とは直接民主的な投票で、今回行うのは、ある争点の賛否を問うものです。選挙で選ばれた住民の代表（市長、市議会）が民意を反映しない時行われます。

狛江の場合、市の基本方針で図書館の分割・移転が一方的に決められ、いろいろな場で分割・移転の見直しと市民との話し合いでより良い図書館をとの要望が出されてきましたが、市長は市民の皆さんの同意は得られた、議会で予算も通っているの一点張りです。

市民はみな納得しているのでしょうか。ちょっと待っての会の宣伝では、未だに図書館の分割・移転を知らない人が少なからずいらっしゃいます。そして必ずと言っていいほど分割は困るという声が聞かれます。

だからこそ、住民投票で新図書館は分割・移転で良いか、現在地で充実か市民の意見を問う機会が必要なのではないでしょうか

住民投票を進めるために

住民投票に取り組むことに賛同し、呼びかけ人になってくれる方をお願いして大勢の方に声かけをしました。快く引き受けてくださった方、趣旨には賛成だが、市との関係や立場上引き受けていただけなかったけれど署名はしますと言明してくださった方、今更やってもという方など、いろいろな対応をいただきました。これから住民投票条例制定請求署名を集める時にも気にかけていかねばならないと思います。

住民投票を始めるには

１）住民投票条例制定請求署名を集める

住民投票を行うといっても、段取りがあります。まず何のための住民投票をやるのかをはっきりさせ、市に住民投票条例を作らせることが必要です。それには市民の側で、住民投票条例案を作り、条例制定の要請書をつけて市内有権者から請求署名を集めます。直接請求なので署名の集め方も厳密で、請求代表者またはその委任を受けた人（受任者）が対面で集める、署名は有権者が自筆で書き、印鑑または拇印が必要、何度も署名できない、など注意しなければならないことがあります。条例制定請求が成立するためには有権者の50分の１以上（およそ1400人）の署名が必要です。署名は選管で有権者か、同一筆跡がないかなどチェックされます。

署名集めの期間は１ヶ月と決められていますので、その間受任者をできるだけ増やして、一斉に取り組む必要があります。有権者であればどなたでも受任者になれます。家族、身近な方たちの分

を引き受けてくださる方を募っています。

２）請求署名が規定数を満たしたら市長は条例案を議会に諮らねばならない。

請求が出されたら住民投票条例案が市長の意見をつけて議会に諮られます。条例を決めるのは議会なので、ここで否決されてしまう可能性もあります。市議会では自民・公明などが条例案に反対して否決してしまうかも知れませんが、「中央図書館の分割移転でなく現在地で充実すべき」という問題での賛否を問う住民投票について反対するわけですから、これらの会派はこの問題で、多くの市民の声を聞こうとしなかったという批判を浴びることになります。また条例が可決されれば、実際に住民投票が実施され、さらに広くこの問題を市民に知らせる事ができます。

３）やっと住民投票

ここまで来て初めて住民投票になります。選挙と同じように投票所が設けられ、「図書館の分割・移転」か「現在地で充実」かを選ぶ投票が行われます。投票結果は拘束力のない尊重型です。民意をどう活かすかは議会に委ねられます。ここでも成立要件など課題はありますが、それはまた後日報告します。（ちょっと待って図書館移転連絡会こまえ　周東三和子）

連絡会ニュース No.12 より転載

住民の意思を示そう

岐阜県多治見市に行くと、人口は１０万人余りなのに４階建ての壮大な市立図書館がありました。まるで市役所本館かと思うほどの規模。蔵書は４２万冊。狛江市図書館と比べて延床面積で３倍、蔵書は２．５倍です。人口規模は狛江市より少し大きいだけなのに、文化に力を入れる度合いはこんなに違う。

高知県の山奥、四万十川の源流にある梼原町は人口 3000 人余りだけど、町立図書館は狛江図書館よりもはるかに大きい。館内の天井から木材が垂れさがり、まるで森の中で読書しているよう。１階は走り回ってもいいし、おしゃべりも自由。市民の交流の場で、ときにコンサートや講演会場にも。２階はゆったりとしたスペースに、ベッドになりそうなソファが置いてあります。全館まわるのに半日はかかりそう。いずれも、こんな図書館があったら人生は豊かになるだろうなあ、と思える造りです。子どもたちは夢をはぐくむし、大人も自分の世界に浸ることができます。

ところが狛江市に目を移すと、図書館の粗末さは目を覆わんばかり。館員はがんばってさまざまなテーマの本を入口に並べるなど手を尽くしていますが、この規模では限りがあります。新しい図書館を創ると決めたのはいいけれど、今の小さな規模をさらに分割するのだと言います。市が決めたことに市民は口を出すなと市長は時代遅れの非民主主義。本は自分で買えばいいから図書館なんか小さくていいと口にする非文化的な議員もいます。非、非・・・非常識がまかり通るなら、市民が正さないと状況は変わらない。

地方政治家の痴ほうを治すのに医師は不要です。住民の意志を示せばいい。住民投票で目を覚ましてやろうではありませんか。
（岩戸北在住　国際ジャーナリスト　伊藤千尋）

イラスト：ありはらせいじ

PFAS 独自井戸水調査結果

立川市で過去最高値
狛江の５カ所は今回は基準値以下

PFAS 汚染を明らかにする狛江の会　重国たけし

米軍基地南東部（立川市）で 3100 ナノグラム（基準値の 62 倍）

「多摩地域の PFAS 汚染を明らかにする会」(「PFAS 汚染を明らかにする狛江の会」も連携して活動）と京都大の原田浩二准教授（環境衛生学）が、12 月１日に発表した多摩地域等の独自水質調査(井戸水 140 カ所、表層水〈河川水〉10 か所）では、横田基地南東の立川市内の浅井戸(30 メートル以下）で、1 リットル当たり 3102 ナノグラムの発がん性が指摘されている PFAS（PFOS と PFOA の合計値）が検出されました。これは、国の暫定基準値の 62 倍にあたるもので、都や環境省の 2018 年度調査で最高値とされた同 1340 ナノグラムを大幅に上回るものでした。

国分寺市の深井戸からも高濃度検出――汚染の拡大の可能性

また、横田基地から東に 10 キロほど離れた国分寺市の深い地点の地下水で、高濃度の分布がある（平均で同地域の浅井戸の５倍近い約 120 ナノグラム）ことも判明しました。

米軍横田基地では、明らかにされたものだけでも 2010～23 年に計８回の PFAS の漏出事故を起こしていますが、米軍は基地外への漏出を認めておらず、日本政府もそれ以上の調査を行おうとしていません。

基地周辺の地下水はおおむね西から東に流れ、東に行くほど地層に沿って沈み込んでいるとされており、基地付近の汚染が東に広がった可能性にも言及。原田准教授は「最も中心的な汚染地域で早く対処しないと、汚染がさらに拡大する恐れがある」と指摘しました。

狛江は今回は基準値以下――さらなる本格調査で実態解明を

狛江からも、この調査に５カ所の井戸水を採取して参加しましたが、最大 35.65 ナノグラムで、いずれも暫定基準値を下回りました（表)。しかし、これまで狛江では、21 年９月の東京都環境局による調査で 410 ナノグラムが検出されるなど、何度も基準値を超える結果が出ています。さらに本格的に、井戸水調査を実施し、実態の解明と汚染源対策が求められています。調布市では、行政が独自の井戸水調査を開始しています。

狛江 PFAS 独自井戸水検査結果（12 月１日発表）

		PFOS	PFOA	PFOS・PFOA 合計
和泉本町	深井戸	0.52	1.63	2.15
和泉本町	浅井戸	13.29	8.91	22.20
元和泉	浅井戸	24.12	11.53	35.65
東和泉	浅井戸	17.95	11.48	29.43
岩戸南	浅井戸	9.93	8.55	18.48

「水チーム」が緊急声明――表層水含めた汚染実態調査、血液検査を

また、今回の結果を受けて、「多摩の会　地下水調査・検討チーム」(重国たけしもメンバー）では、①汚染の被害は現在も拡大しており本格調査が不可欠、②米軍横田基地が最大の汚染源であることは明瞭、③表層水での汚染実態と今後の課題、④水の飲用により PFAS が体内蓄積されている可能性があり希望者への血液検査の実施は緊急の課題、などの緊急声明を出しました。

都知事選挙７月７日投開票に決まる

2024年東京都知事選挙が、**告示6月20日（木）、投開票日が7月7日（日）**と決まり、都議補欠選挙（8選挙区）も同日投票で行われます

11月30日、「都知事選挙を市民と野党の共闘でたたかう都民集会（仮称）実行委員が開かれ、開会挨拶で永山利和元日大教授は、「小池都政は都民の願いに背を向けている。平和とくらし、水と緑を守る、都民に顔をむけた都政実現のため、市民と野党の共同を進めよう」と述べました。

座長を務めた中山伸さんが、都民集会の開催と、事務局体制づくりを提案。各地区、団体から、立川市長選など「政治を変えたい」の世論動向、魅力あるスローガン、要求渦巻く集会に、候補者選定のシステム、衆議院選挙との関係、資金集めなど活発に意見が出されました。

都民集会（仮称）は、1月24日（水）19時から中野ZERO大ホールで開催することを決めましたので、こぞってご参加ください。

総選挙へ野党共通政策
市民連合と５党派会派　共闘再構築へ

「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」が12月7日、国会内で立憲民主党、日本共産党、れいわ新選組、社民党、参院会派「沖縄の風」の5党派の書記局長・幹事長らに対する政策要望会を開きました。市民連合は⑴憲法も国民生活も無視する軍拡は許さない⑵市民の生活を守る経済政策⑶ジェンダー平等・人権保障の実現⑷気候変動対策強化、エネルギー転換の推進⑸立憲主義に基づく公正で開かれた政治—の5項目を次期衆院選挙に向けた野党の共通政策とするよう要望。これを受け、各党が意見を表明しました。

立民の岡田克也幹事長は「5項目で野党がしっかりと協力して力合わせができる土台が整った。自公政権の限界があらわになるなかで、しっかり野党が力を合わせて大きな政策転換をめざしていきたい」と発言。共産党の小池晃書記局長も「非常に心強い発言だ」と呼応し、「岸田政権の支持率が急降下し続けるなか、野党が力を合わせ自民党政治を終わらせ、新しい政治をつくっていくことが非常に大事だ」と述べ、「市民と野党の共闘の再構築に全力を尽くしていきたい」と表明しました。れいわの櫛渕万里共同代表は「私たちの結党の原点は人々の暮らしを守ることであり、そのための消費税の廃止を訴えてきた。この野党共闘がそのような政策の受け皿になることを期待している」、社民の服部良一幹事長は「野党共闘についてさまざまな意見があるが、私たちはそれを気にせず、跳ね返すような勢いで野党共闘の太い柱を立てていくべきだ。」、沖縄の風の高良鉄美参院議員は「先日のオスプレイの事故に関する政府のごまかしに満ちた対応はまさに『マッチョ政治』そのものだと思う。このような政治を変えるため、立憲野党が連携を強めるとともに、市民との連携も強化していきたい」と発言しました。

各党の意見を受け、市民連合運営委員の各氏は「基本的な内容で合意できた」「自公政権を打倒するには立憲野党が団結し、広げていくことが求められている」（福山真劫氏）、「立憲各野党の皆さんが、協力して力あわせ、市民と野党の共闘を立て直すとおっしゃっていただいたことはきわめて重要だ」「いま代案を示し、選択肢を示せるか正念場だ。市民と野党の共闘を再構築して力を合わせていきたい」（佐々木寛氏）と表明しました。

１月の市民運動などの予定

※今月、市民運動団体などが予定している各種会議やイベントなど、日程を掲載するコーナーです。編集部が把握する情報には漏れがあると思いますので、ぜひあなたの情報をお寄せください。
※本紙に折り込んでほしいビラなどがありましたら、300 部用意してください。会報製本・仕分け作業日前日が締め切りとなります。折り込み希望の方は、可能な限り、会報の製本・仕分け作業をお手伝いください。

日　　時	会場など	内　　容	問い合わせ先など
3 日(水)	狛江駅前北口広場	Silent Standing 中止	《平和憲法を広める狛江連絡会》《こまえ九条の会》
9 日（火） 15 時～16 時	狛江駅前	９の日行動 ＝駅前署名・宣伝行動 日暮れが早いので時間繰上げ	戦争なんてイヤだ！狛江市民実行委員会
12 日（金） 10 時 30 分～	みんなの広場	「豊かな狛江」２月号 編集会議	
18 日（木） 14 時～16 時	中央公民館 料理実習室	《平和憲法を広める狛江連絡会》《こまえ九条の会》合同世話人会	新しい方の参加大歓迎です。
19 日（金） 18 時 30 分～	衆議院第２議員会館前中心	パレスチナに平和を！軍拡増税反対！辺野古新基地建設反対！改憲発議反対！暮らしをまもれ！12･19 国会議員会館前行動	戦争させない･９条壊すな！総がかり行動実行委員会
23 日（火） 14 時～16 時	東京土建狛江支部会館	こまえ社保協事務局・役員会	各加盟団体の皆さんは、ご出席ください。
24 日（水） 14 時～15 時	狛江駅前	原発と気候危機に関連する宣伝	原発と気候危機を考える会
24 日（水） 17 時 30 分～ 18 時 30 分	狛江駅前	《消費税をなくす狛江の会》の署名行動	民主商工会や東京土建狛江支部などが中心。第４水曜日。
24 日（水） 19 時～	中野 ZERO 大ホール	都知事選挙を市民と野党の共闘でたたかう都民集会	都知事選挙７月７日投開票
29 日（月） 14 時～16 時	みんなの広場	豊かな会拡大世話人会	世話人以外の方の参加歓迎です。
30 日（火） 9 時 30 分～	みんなの広場	豊かな会会報『豊かな狛江』２月号の製本・仕分け作業	折り込みのある団体はご参加ください。

オスプレイの墜落事故から何を考えますか？

○11 月 29 日午後 2 時 40 分頃､鹿児島県屋久島沖に在日米軍横田基地所属のオスプレイ CV-22 が墜落した。8 人の乗員の内、7 人の遺体を収容したが、現在も 1 名不明である。

この事故は海上保安庁が 30 分後には空からオスプレイの残骸を発見しており、事故の瞬間を目撃した島民が、「上下逆さになり、左のエンジンあたりから火を噴いて、プロペラが後ろに吹っ飛んで墜落した」と証言。海上保安庁は当初、「墜落」として発表していたが、午後 6 時過ぎになって宮沢博行防衛副大臣が「不時着水」と説明、理由は「米側から最後の最後までパイロットは頑張っていたとの説明」があり、「墜落」ではないとした。日本時間 29 日夜の時点で、米メディアは「CRASH」（墜落）と報道。翌日の午前 10 時になって、木原稔防衛相は米側から「墜落と連絡があった」ので「墜落」と訂正した。

○オスプレイは事故後も 1 週間飛び続けた。米軍は人為的なミスでは無く器材の不具合が事故を起こした可能性があると判断していた。事故翌日、木原防衛相は在日米軍司令官（オースティン国防長官ではない）に会い、「安全が確認されてから飛行を行うよう要請」した。これを受けて、米側は飛行停止の「公式な要請は受けていない」として 1 週間、飛ばし続けたのち、「根本原因は現時点では不明」として停止した。

○2016 年 12 月 13 日夜､米軍普天間基地所属のオスプレイが名護市沿岸に墜落・大破した。政府はこの時も「不時着水」（翁長知事は「墜落と認識」と表明。）と説明したが、翌未明には飛行停止を要請した（もっとも 1 週間で飛行再開！）。

○2023 年 12 月 19 日付け沖縄タイムスの特ダネ報道として、相次ぐ事故などのために米国以外の注文がなく（あるのは日本の自衛隊だけ）、米軍はオスプレイの生産を今年度発注分で打ち切りにするとのこと。

☆これらの事実から私たちは何を考え、学ぶのだろうか。（和泉本町　西尾）

狛江の参加度は？市民参加のはしご（再掲）

⑧	Citizen Control 住民によるコントロール	市民の権利としての参加	事業や組織の運営に住民が自治権を持っている状態
⑦	Delegated Power 権限委譲		住民側により大きな決定権が与えられる状態
⑥	Partnership パートナーシップ		住民と権力者との間で決定権が共有されている状態
⑤	Placation 懐柔	形式だけの参加	住民の参加は認めるが、決定権限は権力者が保留する状態
④	Consultation 意見聴取		意見反映の有無は不明なアンケート調査やWSの実施
③	Informing 情報提供		一方通行な情報提供(パンフレット・ポスター)や形式的な公聴会
②	Therapy 緊張の緩和	参加不在	住民の不満感情をなだめるガス抜きとしての参加
①	Manipulation 世論操作		決定事項への誘導、住民参加の箔付け、アリバイ作りの参加

Silent Standing

12月3日（日）14時～15時
狛江駅北口

９の日行動

12月9日（土）15時～16時
狛江駅北口
11人参加で署名は11筆でした。横断幕が好評です。

狛江の自然

富士山

　野川からは富士山を見られるのが「小金橋」近辺からしか私は知りません。他からはビルの陰になり、見ることが出来ません。この写真からも分かるように、見られてもマンションのわずかな「隙間」からのぞく程度です。それでも、どこかホッとする雰囲気があります。　　　　　　　（和泉本町　西尾真人）